



概要

- [概要 \(1 ページ\)](#)
- [外部機能 \(1 ページ\)](#)
- [ステータス LED およびボタン \(3 ページ\)](#)
- [サービス可能なコンポーネントの場所 \(9 ページ\)](#)
- [サーバ機能の概要 \(11 ページ\)](#)

概要

Cisco APIC サーバ M3 および L3 (APIC-SERVER-M3 および APIC-SERVER-L3) ースモールフォームファクタ (SFF) ドライブ (10 ドライブバックプレーン付き) 最大 10 台の 2.5 インチ SAS/SATA ドライブをサポート。ドライブベイ 1 および 2 は NVMe SSD をサポート。

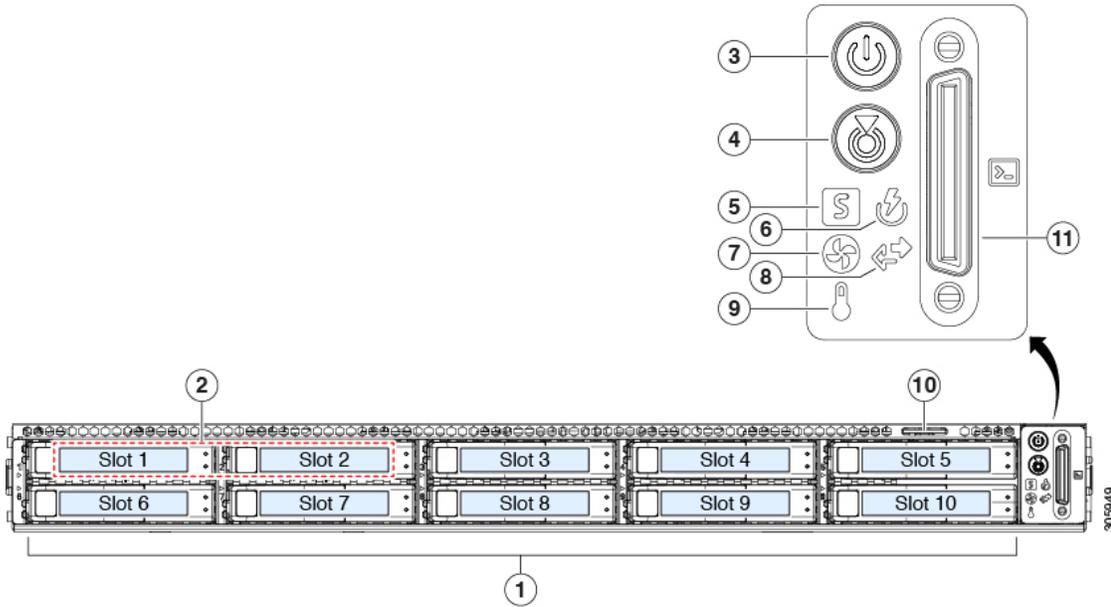
外部機能

このトピックでは、各サーバー バージョンの外部機能について説明します。

Cisco APIC M3 および L3 サーバ (SFF ドライブ) の前面パネルの機能

次の図に、小型フォームファクタのドライブバージョンのサーバの前面パネルの機構を示します。

図 1: Cisco APIC M3 および L3 サーバ (SFF ドライブ) の前面パネル

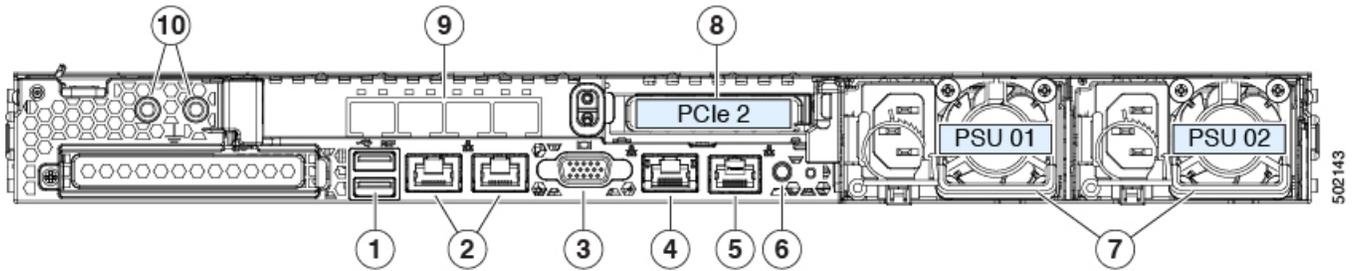


1 ドライブ ベイ 1 ~ 10 は SAS/SATA ハードディスク ドライブ (HDD) およびソリッドステートドライブ (SSD) をサポート。	7 ファン ステータス LED
2 • APIC-Server-M3 および L3: ドライブ ベイ 1 および 2 で NVMe PCIe SSD をサポート。	8 ネットワーク リンク アクティビティ LED
3 電源ボタン/電源ステータス LED	9 温度ステータス LED
4 ユニット識別ボタン/LED	10 引き抜きアセットタグ
5 システム ステータス LED	11 KVM コネクタ (DB-15 VGA 1 個、DB-9 シリアル 1 個、および USB コネクタ 2 個を装備した KVM ケーブルとともに使用)
6 電源ステータス LED	-

Cisco APIC M3 および L3 サーバの背面パネルの機能

背面パネルの機能は、サーバのバージョンすべてで同一です。

図 2: Cisco APIC M3 および L3 サーバの背面パネル



1 USB 3.0 ポート (2 個)	6 背面ユニット識別ボタン/LED
2 デュアル 1 Gb/10 Gb イーサネット ポート (LAN1 と LAN2) デュアル LAN ポートは、リンク パートナーの機能に応じて 1 Gbps および 10 Gbps をサポートできます。	7 電源装置 (2、1+1 として冗長)
3 VGA ビデオ ポート (DB-15 コネクタ)	8 PCIe ライザー 2/スロット 2 (x16 レーン)
4 4 Gb イーサネット専用管理ポート	9 VIC 1455 (外部 10/25-Gigabit イーサネット ポート (4) 付き)
5 シリアルポート (RJ-45 コネクタ)	10 デュアルホール アース ラグ用ネジ穴



(注) VIC 1455 には、4 個のポート、ポート 1、ポート 2、ポート 3、およびポート 4 が左から右にあります。

- すべてのポートの速度は、10 ギガビットまたは 25 ギガビットのいずれかにする必要があります。
- ポート 1 とポート 2 は、APIC 上の eth2 に対応する 1 個のペアであり、ポート 3 とポート 4 は、APIC 上の eth2 に対応する別のペアです。各ペアに対して許可される接続は 1 つだけです。たとえば、1 本のケーブルをポート 1 またはポート 2 に接続し、別のケーブルをポート 3 またはポート 4 に接続することができます (ペアで 2 本のケーブルを接続しないでください)。

ステータス LED およびボタン

ここでは、前面、背面、および内部の LED の状態について説明します。

前面パネルの LED

図 3: 前面パネルの LED

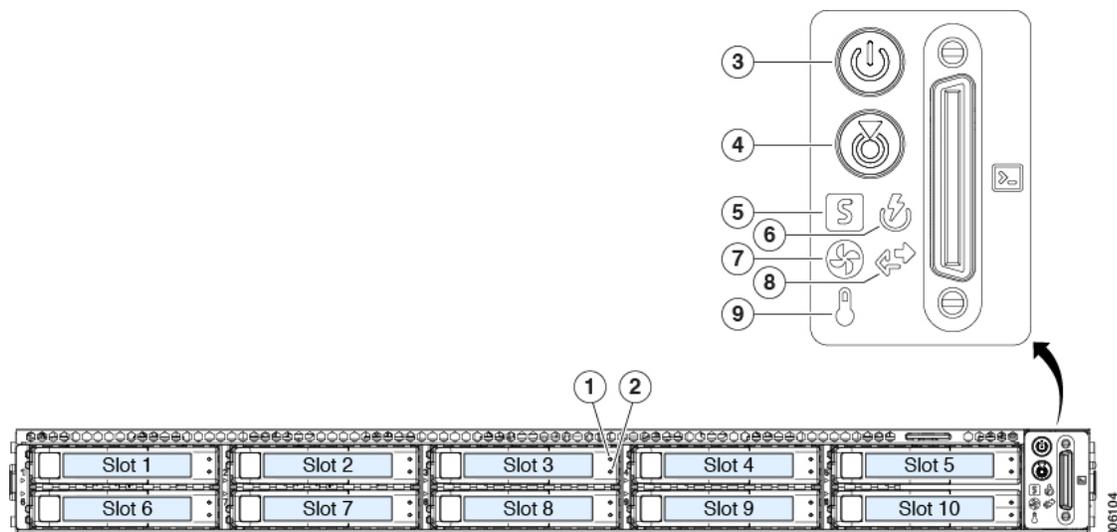


表 1: 前面パネル LED、状態の定義

LED 名	状態
SAS/SATA ドライブの障害 (注) NVMe ソリッドステートドライブ (SSD) ドライブトレイの LED の動作は、SAS/SATA ドライブトレイとは異なります。	<ul style="list-style-type: none"> • 消灯：ハードドライブは正常に動作中です。 • オレンジ：ドライブ障害が検出されました。 • オレンジの点滅：デバイスの再構成中です。 • 1 秒間隔のオレンジの点滅：ソフトウェアでドライブ位置特定機能がアクティブ化されました。
SAS/SATA ドライブ アクティビティ LED	<ul style="list-style-type: none"> • 消灯：ハードドライブトレイにハードドライブが存在しません（アクセスなし、障害なし）。 • 緑：ハードドライブの準備が完了しています。 • 緑の点滅：ハードドライブはデータの読み取り中または書き込み中です。

<p>1 NVMe SSD ドライブ障害</p> <p>(注) NVMe ソリッドステートドライブ (SSD) ドライブトレイの LED の動作は、SAS/SATA ドライブトレイとは異なります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 消灯：ドライブは使用されておらず、安全に取り外すことができます。 • 緑色：ドライブは使用中で、正常に機能しています。 • 緑の点滅：ドライブは挿入後の初期化中、またはイジェクトコマンドの後のアンロード中です。 • オレンジ：ドライブで障害が発生しています。 • オレンジの点滅：ソフトウェアでドライブ検出コマンドが発行されました。
<p>2 NVMe SSD アクティビティ</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 消灯：ドライブが動作していません。 • 緑の点滅：ドライブは動作中です。
<p>3 電源ボタン/LED</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 消灯：サーバに AC 電力が供給されていません。 • オレンジ：サーバはスタンバイ電源モードです。Cisco IMC と一部のマザーボード機能にだけ電力が供給されています。 • 緑：サーバは主電源モードです。すべてのサーバコンポーネントに電力が供給されています。
<p>4 ユニット識別</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 消灯：ユニット識別機能は使用されていません。 • 青の点滅：ユニット識別機能がアクティブです。

<p>5 システムヘルス</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 緑：サーバは正常動作状態で稼働しています。 • 緑の点滅：サーバーはシステムの初期化とメモリチェックを行っています。 • オレンジの点灯：サーバは縮退運転状態にあります（軽度な障害）。次に例を示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 電源装置の冗長性が失われている。 • CPU が一致しない。 • 少なくとも1つのCPUに障害が発生している。 • 少なくとも1つのDIMMに障害が発生している。 • RAID構成内の少なくとも1台のドライブに障害が発生している。 • オレンジの点滅（2回）：システムボードで重度の障害が発生しています。 • オレンジの点滅（3回）：メモリ（DIMM）で重度の障害が発生しています。 • オレンジの点滅（4回）：CPUで重度の障害が発生しています。
<p>6 電源の状態</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 緑：すべての電源装置が正常に動作中です。 • オレンジの点灯：1台以上の電源装置が縮退運転状態にあります。 • オレンジの点滅：1台以上の電源装置が重大な障害発生状態にあります。
<p>7 ファンの状態</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 緑：すべてのファンモジュールが正常に動作中です。 • オレンジの点滅：1つ以上のファンモジュールで回復不能なしきい値を超えました。
<p>8 ネットワークリンクアクティビティ</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 消灯：イーサネットLOMポートリンクがアイドル状態です。 • 緑：1つ以上のイーサネットLOMポートでリンクがアクティブになっていますが、アクティビティは存在しません。 • 緑の点滅：1つ以上のイーサネットLOMポートでリンクがアクティブになっていて、アクティビティが存在します。

温度	<ul style="list-style-type: none"> • 緑：サーバは正常温度で稼働中です。 • オレンジの点灯：1 個以上の温度センサーで重大なしきい値を超えました。 • オレンジの点滅：1 個以上の温度センサーで回復不能なしきい値を超えました。
----	---

背面パネルの LED

図 4: 背面パネル LED

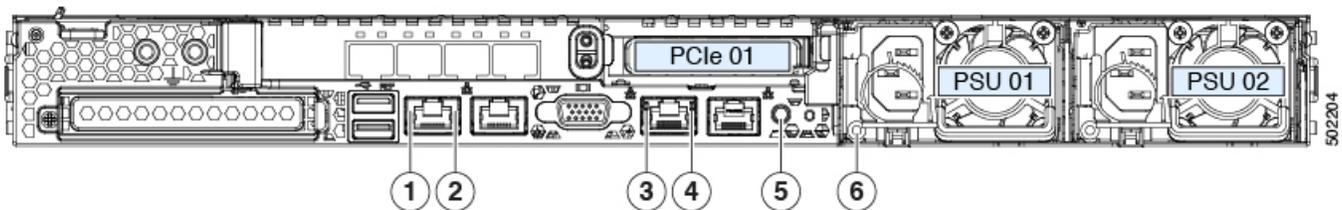


表 2: 背面パネル LED、状態の定義

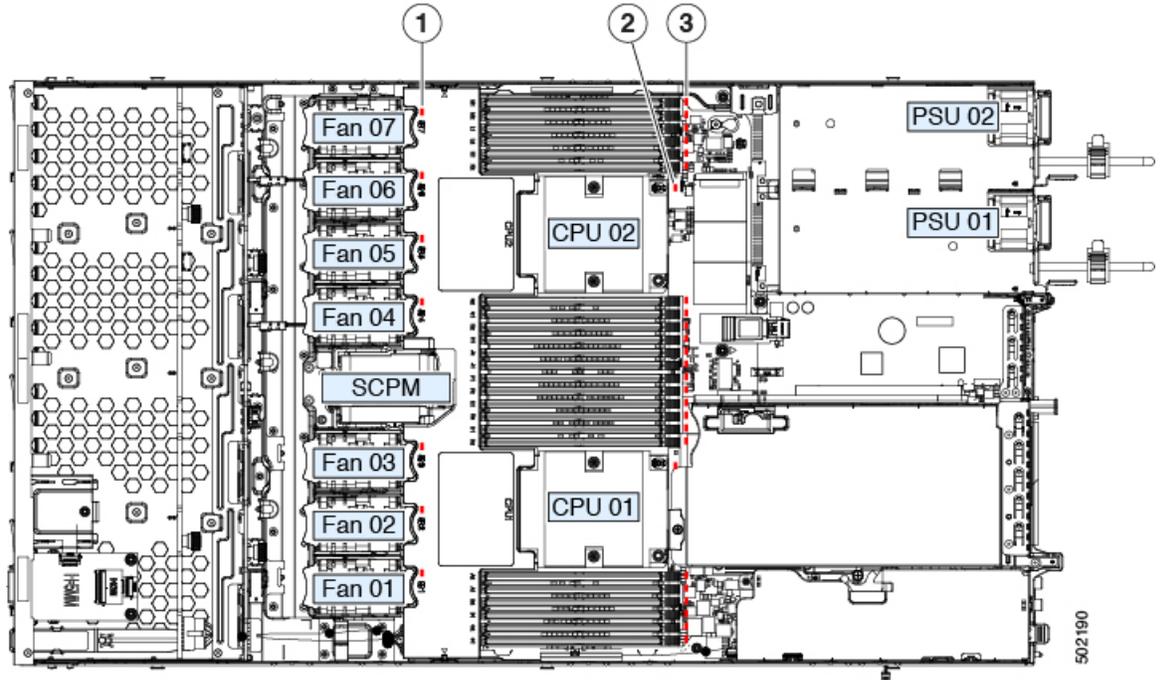
LED 名	状態
1 Gb/10 Gb イーサネット リンク速度 (LAN1 と LAN2 の両方)	<ul style="list-style-type: none"> • 消灯：リンク速度は 100 Mbps です。 • オレンジ：リンク速度は 1 Gbps です。 • 緑：リンク速度は 10 Gbps です。
2 Gb/10 Gb イーサネット リンク ステータス (LAN1 と LAN2 の両方)	<ul style="list-style-type: none"> • 消灯：リンクが確立されていません。 • 緑：リンクはアクティブです。 • 緑の点滅：アクティブなリンクにトラフィックが存在します。
3 Gb イーサネット専用管理リンク速度	<ul style="list-style-type: none"> • 消灯：リンク速度は 10 Mbps です。 • オレンジ：リンク速度は 100 Mbps です。 • 緑：リンク速度は 1 Gbps です。
4 Gb イーサネット専用管理リンク ステータス	<ul style="list-style-type: none"> • 消灯：リンクが確立されていません。 • 緑：リンクはアクティブです。 • 緑の点滅：アクティブなリンクにトラフィックが存在します。

背面ユニット識別	<ul style="list-style-type: none"> • 消灯：ユニット識別機能は使用されていません。 • 青の点滅：ユニット識別機能がアクティブです。
電源ステータス（各電源装置に1つのLED）	<p>AC 電源装置：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 消灯：AC 入力なし（12 V 主電源はオフ、12 V スタンバイ電源オフ）。 • 緑の点滅：12 V 主電源はオフ、12 V スタンバイ電源はオン。 • 緑の点灯：12 V 主電源はオン、12 V スタンバイ電源はオン。 • オレンジの点滅：警告しきい値が検出されましたが、12 V 主電源はオン。 • オレンジの点灯：重大なエラーが検出されました。12 V 主電源はオフです（過電流、過電圧、温度超過などの障害）。 <p>DC 電源装置：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 消灯：DC 入力なし（12 V 主電源はオフ、12 V スタンバイ電源はオフ）。 • 緑の点滅：12 V 主電源はオフ、12 V スタンバイ電源はオン。 • 緑の点灯：12 V 主電源はオン、12 V スタンバイ電源はオン。 • オレンジの点滅：警告しきい値が検出されましたが、12 V 主電源はオン。 • オレンジの点灯：重大なエラーが検出されました。12 V 主電源はオフです（過電流、過電圧、温度超過などの障害）。

内部診断 LED

サーバーには、CPU、DIMM、およびファンモジュールの内部障害 LED があります。

図 5: 内部診断 LED の位置

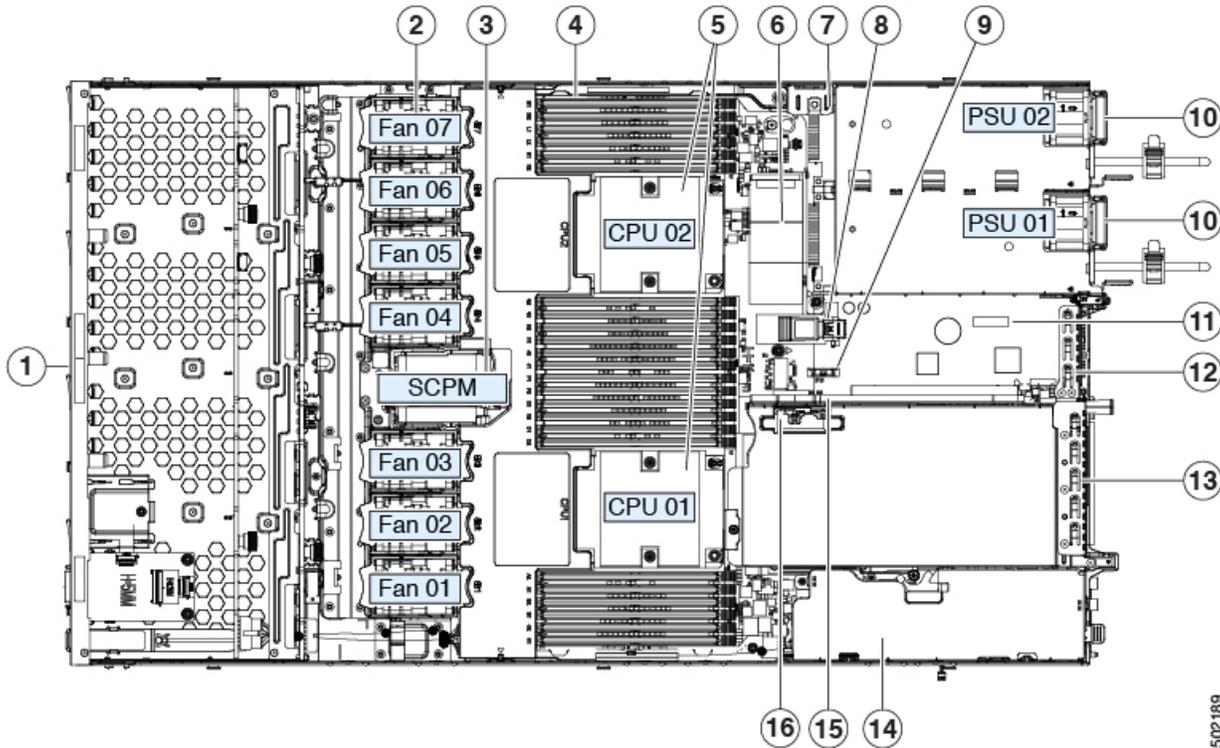


<p>ファンモジュール障害 LED (マザーボード上の各ファンコネクタの後方に1つ)</p> <ul style="list-style-type: none"> • オレンジ: ファンに障害が発生しているか、しっかりと装着されていません。 • 緑: ファンは正常です。 	<p>DIMM 障害 LED (マザーボード上の各 DIMM ソケットの後方に1つ)</p> <p>これらの LED は、サーバーがスタンバイ電源モードの場合にのみ動作します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • オレンジ: DIMM に障害が発生しています。 • 消灯: DIMM は正常です。
<p>CPU 障害 LED (マザーボード上の各 CPU ソケットの後方に1つ)</p> <p>これらの LED は、サーバーがスタンバイ電源モードの場合にのみ動作します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • オレンジ: CPU に障害が発生しています。 • 消灯オフ: CPU は正常です。 	

サービス可能なコンポーネントの場所

ここでは、フィールドで交換可能なコンポーネントとサービス関連の品目の場所を示します。次の図に、上部カバーを取り外した状態のサーバーを示します。

図 6: Cisco APIC M3 および L3 サーバ、サービス可能なコンポーネントの場所



502189

1 フロントロードドライブベイ 1～10 は SAS/SATA ドライブをサポート。	8 RTC バッテリー、垂直ソケット
2 冷却ファンモジュール (7 個、ホットスワップ可能)	9 電源ユニット (1+1 冗長の場合にホットスワップ可能)
3 Supercap ユニット取り付けブラケット (RAID バックアップ)	10 マザーボード上のトラステッドプラットフォームモジュール (TPM) ソケット (図示されず)
4 マザーボード上の DIMM ソケット (CPU あたり 12 個)	11 PCIe ライザー 1/スロット 1 (フルハイト、x16 レーン) フロントロード NVMe SSD (x8 レーン) 用の PCIe ケーブルコネクタが付属
5 CPU およびヒートシンク (最大 2)	12 VIC 1455 (外部 10/25-Gigabit イーサネットポート (4) 付き)
6 M.2 ストレージモジュールソケット 2 つの SD カードスロットを装備した SD カードモジュール、または 2 つの NVMe または SATA M.2 SSD スロットを装備した M.2 モジュールをサポート。	13 使用可能な (空の) PCIe スロット
7 チャーシ侵入スイッチ (任意)	14 PCIe ライザー 2 のフロントロード NVMe SSD 用の PCIe ケーブルコネクタ

マザーボード上の内部 USB 3.0 ポート

PCIe ライザー 1 の microSD カード ソケット

サーバ機能の概要

以下の表に、サーバ機能の概要を示します。

機能	説明
シャーシ	1ラックユニット (1RU) シャーシ
セントラルプロセッサ	<p>最大 2 個のインテル Xeon スケーラブル・プロセッサ ファミリー CPU。これには次のシリーズの CPU が含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • インテル Xeon Bronze 3XXX プロセッサ • インテル Xeon Silver 4XXX プロセッサ • Intel Xeon Gold 5XXX プロセッサ • Intel Xeon Gold 6XXX プロセッサ • Intel Xeon Platinum 8XXX プロセッサ
メモリ	マザーボード上に 24 個の DDR4 DIMM ソケット搭載 (CPU あたり 12 個)。
マルチビットエラー保護	マルチビットエラー保護をサポートします。
ベースボード管理	<p>BMC は、Cisco IMC (Cisco Integrated Management Controller) ファームウェアを動作させます。</p> <p>Cisco IMC の設定に応じて、1 GB 専用管理ポート、1 Gb/10 Gb イーサネット LAN ポート、または、シスコ仮想インターフェイスカードを利用して Cisco IMC にアクセスできます。</p>

機能	説明
ネットワークおよび管理 I/O	<p>背面パネル：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1 Gb イーサネット専用管理ポート X1 (RJ-45 コネクタ) • 1 Gb/10 Gb BASE-T イーサネット LAN ポート X 2 (RJ-45 コネクタ) デュアル LAN ポートは、リンク パートナーの機能に応じて 1 Gbps および 10 Gbps をサポートできます。 • RS-232 シリアル ポート (RJ-45 コネクタ) X 1 • VGA ビデオ コネクタ ポート X 1 (DB-15 コネクタ) • USB 3.0 ポート X 2 <p>前面パネル：</p> <ul style="list-style-type: none"> • USB 2.0 X 2、VGA X 1、DB-9 シリアル コネクタ X 1 を装備したキーボード/ビデオ/マウス (KVM) ケーブルを使用する前面パネル KVM コネクタ X 1
モジュラ LOM	背面パネルの追加接続用に、mLOM カードを追加するために使用できる専用ソケット (X 16 PCIe レーン) X 1。
WoL	2 個の 1 Gb/10 Gb BASE-T イーサネット LAN ポートで Wake-on-LAN (WoL) 規格をサポートします。
電力	2 基の電源装置。1+1 で冗長構成。 <ul style="list-style-type: none"> • AC 電源装置の場合、各台に 770 W AC を設置
ACPI	Advanced Configuration and Power Interface (ACPI) 4.0 規格をサポートしています。
冷却	ホットスワップ可能なファンモジュール (前面から背面に向かう冷却用) X 7。
PCIe I/O	2 つの水平 PCIe 拡張スロット (PCIe ライザーアセンブリ上)。
InfiniBand	このサーバの PCIe バス スロットで InfiniBand アーキテクチャをサポートします。
ストレージ、前面パネル	Cisco APIC M3 および L3 (APIC-SERVER-M3 および APIC-SERVER-L3) ー10 ドライブ バックプレーン付き小型フォームファクタ (SFF) ドライブ。最大 10 台の 2.5 インチ SAS/SATA ドライブをサポート。ドライブベイ 1 および 2 は NVMe SSD をサポート。

機能	説明
ストレージ、内部	サーバには、以下の内蔵ストレージオプションがあります。 <ul style="list-style-type: none">マザーボード上の USB ポート X 1。ミニストレージ モジュール ソケット。オプションで次のいずれかが付属します。<ul style="list-style-type: none">SD カードモジュール。最大 2 枚の SD カードをサポート。M.2 SSD モジュール。2 つの SATA M.2 SSD または 2 つの NVMe M.2 SSD のいずれかをサポートします。PCIe ライザー 1 の microSD カードソケット X 1。
ストレージ管理	サーバには、次のいずれかのストレージコントローラ オプションをサポートする専用の内部 mRAID ライザーがあります。 <ul style="list-style-type: none">PCIe スタイルの Cisco モジュラ RAID コントローラカード (SAS/SATA)。サーバーの組み込み SATA RAID コントローラ用 PCIe スタイルのインタポーザカード。
RAID バックアップ	サーバには、Cisco モジュラ RAID コントローラ カードで使用される SuperCap ユニットの冷却ファンの近くに取り付けブラケットがあります。
統合ビデオ	統合 VGA ビデオ。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。